

社会科学学習指導案

神辺町立御野小学校 指導者 藤井 榮子

1. 学 年 第3学年1組 22名

2. 単元名 店ではたらく人びとのしごと

3. 単元設定の理由

- 3年生の学年における目標は、「地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。ア 地域には生産販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」と指導要領に掲げてある。つまり、店で働く人たちの売るための工夫を理解させることがねらいである。身近な地域の中で起きている社会事象や、地域で暮らしている人々の様子を調べていくこととなっている。現在、社会経済や消費者のニーズの変化に伴って流通形態が多様化し、地域の小売業にも大きな変化が見られる。従来の個人商店や商店街の利用者は減少し、車で行ける郊外型のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの利用者が大幅に増加している。そこで、本単元においては、利用度が増加しているスーパーマーケットを取り上げることとした。また、地域の販売の特色をつかむだけでなく、一人一人の子どもが、自分の身の回りの消費生活に目を向け消費者としての工夫を考えさせたり、店によって集客力や購買力を高めるために様々な工夫がされていることに気づかせたりするにはよい教材である。
- 本学級の児童は、これまでに校区探検では調べ学習を経験したり、校区の地図を使ったりして神辺町の学習をしてきた。また、神辺町の施設で見学・聞き取り活動を行ってきた。児童は、興味を持ちながら活動してきた。子ども達は、最近まで学校の近くにファミリーマートがあったが、閉店になり他の店舗に変わっていく様子を知っている。校区にある店におかしを買いに行く程度で、一人で「おつかい」を経験した子は22人中9人である。ほとんどは、家の人がいるものを買って来るか、車で神辺町や井原方面へ休みの日に親について買い物をしてしに行っている程度である。家の人が買い物をする時、どのように店を選び分けているか、お店で働いている人が、自分たちお客さんのためにいろいろ工夫していることがあることまでは分かっていない児童が多い。また、店頭に並ぶ商品が、どのような経路で運ばれてくるのかについてはほとんど知らない。
- 指導にあたっては、各自1週間の各家庭の買い物調べを行い、自分の家の買い物の様子（どこの店で買ったか・どんな品物を買ったか・気をつけていることは何か）を知り、それを「地域の店の買い物地図」と「買い物グラフ」などに表していくことで店に興味・関心を持たせ、個々の家庭で買い物の仕方や店の選び方に違いがあることや、消費者としての工夫や選択について思考させる。また、実際にスーパーマーケットを見学したり、店長やお客から聞き取り調査を行ったりする体験的な活動をしながら学習を進めていくことで児童の観察・調査能力が高まるように努めたい。2つのスーパーマーケットを見学し、店によってそれぞれ経営方針が違いは、各々消費者の願いに対応して様々な工夫をしていることを理解させそのことが私たちの生活を支えていることを考えさせたい。また、販売者側にたった工夫だけではなく、消費者の側からも地域の消費活動を考えられるように考慮したい。そして、地域の人々のくらしは、消費生活や生産活動を通じて、国内の他地域や外国などとも関わりがあることに気づかせたい。

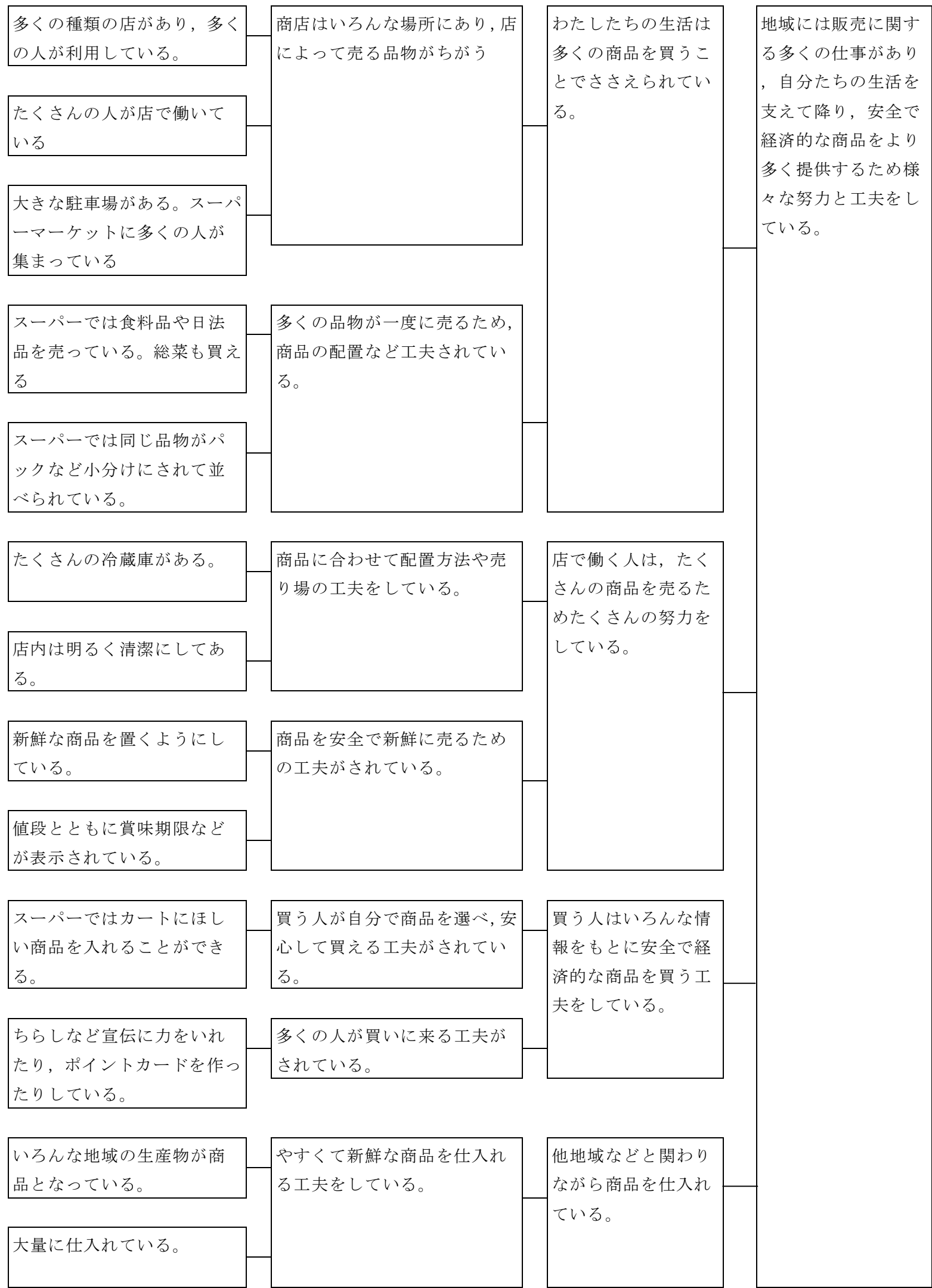
4. 単元の目標

- ・地域の人々の生産や販売について、地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることや地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわりを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えることができる。

5. 単元の評価規準

ア社会的事象への 関心・意欲・態度	イ社会的な思考・判断	ウ観察・資料活用の 技能・表現	エ社会的事象についての 知識・理解
・身近な地域の販売活動に携わる人々の様子に関心を持ち、見学や調査活動を通して、自ら働きかけて意欲的に調べようとする。	・身近な地域の販売活動に携わる人々は、消費者の願いに合わせて工夫していることを考えることができる。	・身近な地域の販売活動に携わる人々の様子を、インタビュー等で具体的に観察・調査し、見学メモやカード等にわかりやすき表すことができる。	・身近な地域の販売にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり、それに携わる人々は工夫や努力をしていることを理解している。

6. 単元構想図



7. 単元指導計画（全12時間）

段階	次 数	時 数	学習活動	評価規準				評価規準	評価方法
				関	思	技	知		
出 会 う	1 よく行く店はどこ	1 2	・自分の家の人が、どの店で何を 買っているかについて調べる。	○	◎			・クラス全体の買い物地図やグラフから、 同じ物でも買う店が違っていることに疑問をもつことができる。	発表
								・クラス全体の消費生活の傾向をつかむことができる。	ノート
決定する	2 スーパーマーケットのひみつをさぐる	3	・スーパーマーケットの見学計画を立てる。	◎				・スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について積極的に調べようとする ことができる。	ノート
					○			・見学して調べる内容や調べる方法について理解することができる。	発表
追 究 す る	3 スーパーマーケットの見学	4	・スーパーマーケットの外のような すや店の中のようなすを調べる			○		・スーパーマーケットの様子について意欲的に観察したり、店の人に進んでインタビューをしたりすることができる。	行動・観察
						◎		・見学を通して、スーパーマーケットで働く人の工夫や努力について理解することができる。	ワークシート
		5	・働く人にインタビューする。	○				・店の人に迷惑にならないように配慮しながら、店の人に積極的にインタビューを することができる。	行動・観察
					◎		・スーパーマーケットで働く人のそれぞれの工夫や、店としての集客の努力をとら えさせることができる。	ワークシート	
	6	・買い物をする人にインタビューする。		◎			・調べたことをもとに、店側の工夫・努力について考えることができる。	行動・観察	
					○		・お客さんの店に対する希望や様々な店で働く人の工夫・努力について理解する ことができる。	ワークシート	
	4 スーパーマーケットの見学のまとめ	7	・スーパーマーケットの見学のまとめをする。（本時）		◎			・聞き取ったことをもとに、店側の工夫・努力について考えることができる。	発表 ノート
						○		・販売にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり、携わる人々は販売の工夫や努力を していることがわかり、それを事実をもとに具体的に説明することができる。	発表 ノート
		8	・品物はどこから来るか調べる。	◎				・野菜や果物がどこから送られてきているのかを、進んで調べようとする ことができる。	発表 ノート
							○	・野菜や果物の産地調べを通して、国内の他地域や国外とのつながりに気がつく ことができる。	ノート
		10 11	・上手な買い物をするにはどうしたらよいか考える。	◎				・家の人への聞き取りやお店調べなどを通して、買い物の工夫について進んで調べる ことができる。	発表 ノート

				○			・家の人が品物の品質や安全性，便利さなどを考えて品物や店を選んでいることをつかむことができる。	
交流する	5 まとめ	12	その他の店を調べる。	◎			・様々な商店に関心をもち，進んで調べようすることができる。 ・様々な商店の販売の特徴をとらえることができる。	発表 ノート

8. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・スーパーマーケットの見学を通して、働く人たちの工夫や努力について考えることができる。

(2) 評価規準の観点

◎・聞き取ったことをもとに、店側の工夫・努力について考えることができる。 【社会的な思考・判断】

○・販売にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり，携わる人々は販売の工夫や努力をしていることがわかり，それを事実をもとに具体的に説明することができる。 【観察・資料活用の技能・表現】

(3) 準備物

指導者・・・スーパーマーケットの店内の写真

(4) 本時の展開

過程	学習活動・発問及び予想される反応		学習への支援（○） 指導上の留意点（・）	評価規準と評価方法
つかむ	①前時までの学習を想起する。 ○ スーパーマーケットの人気のひみつの予想を思い出してみよう。 ・品物がきれいに並べてあった。 ・駐車場が広がった。 ・値段が安い。		○前時の学習の足跡を掲示しておく。	
課題	②課題を確認する。			
深める	スーパーマーケットのひみつをさがることができる。			
	③スーパーマーケットの工夫について考える。			
	店の工夫について発表しよう。（ハローズ） ・安売りの広告が掲示してある。 ・パックに分けて並べてあった。 ・同じ品物がきれいに並べてあった。 ・野菜のコーナーでは，冷たくしてあった。 ・肉はいろんな地域のものがある。 ・切った野菜（サラダ用）がある。 ・24時間営業している ・何処に何があるか看板があった ・温度計があった。	（ハート） ・広告はない代わりに値段を安くしてある。 ・たくさん買うことができるように箱売りがある。 ・ばら売りや箱売りにしてある。 ・地元の野菜がある。 ・肉は中山牧場のものがある。 ・2個で○円と表示してある。 ・朝市がある。 ・魚屋さんが「今日の特売は・・・」と大きい声で言う。 ・温度計があった。	○店の様子が分かるように写真などを掲示する。 ○資料などを根拠にしながら発表させる。 ○2つのグループに分かれ，それぞれの店の工夫を具体的に発表させる。 ・店の工夫にしっかり目を向けさせるようにする。	
	○ それぞれの店の工夫を分類しよう。 ・お客さんが買いたいものをいつでも			イ◎聞き取ったことをもとに，店側の工夫・努力について考えることができる。

	買いやすいようにする工夫。 ・ 新鮮さを大切にする工夫 ・ 便利に買い物をする工夫 ・ 少しでも値段を安くする工夫 ○なぜこのような工夫をするのだろう。 ・ たくさん買い物に来てほしい。 ・ お客さんに喜んでもらいたい。 ・ たくさんお金をもうけたい。 ・ 信用してもらおう。		(発表・ノート)
まとめる	⑤学習のまとめをする。 ○今日の学習で、わかったことや疑問に思ったことをノートに書こう。 ・ 店によってそれぞれ工夫をしている。 ・ 目的によって買う店を選んでいる。 ・ 安くするためにどんな工夫をしているのだろう。	・ スーパーマーケットの工夫や努力に着目できるようにする。	エ○販売にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり、携わる人々は販売の工夫や努力をしていることがわかり、それを事実をもとに具体的に説明することができる。 (発表・ノート)